



よこすか市議会だより

No.58

令和7年(2025年)
11月14日号

YOKOSUKA CITY COUNCIL

〒238-8550 横須賀市小川町11番地 ☎046(822)9394 [市議会議会局議事課]

横須賀市議会

検索



pd-ccs@city.yokosuka.kanagawa.jp

発行 横須賀市議会
編集 広報広聴会議

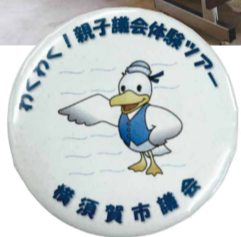


身近な議会を目指して



議会初

「わくわく！親子議会体験ツアー」を開催しました



参加者に配布した缶バッジ

議会初の試みで、親子一緒に楽しみ、お子さんに市議会に興味を持ってもらえる機会として、8月13日に、親子を対象とした議会体験ツアーを実施しました。

当日はお子さん18人、保護者12人にお越しいただき、議場の議員席で説明を聞いたり、議長や議会局長となって議会進行を体験したりしました。委員会室では議会クイズに積極的にご参加いただきました。参加したお子さんからは、「市議会のことを楽しく知れた」「なかなか来られないところに来られて楽しかった」「また来たい」といった感想が多く寄せられ、「議長席からは周りが見やすかった」という声もありました。今後も開かれた議会を目指して、様々な企画をしてまいります。

議会のあらまし

7月臨時議会

2回の臨時議会が開会されました。初回の臨時議会での議案は、市長の交通法規違反について、信頼喪失の責任として給料月額を3ヶ月減額するものであり、賛成多数で可決となりました。本件については総務常任委員会から意見が付され、市長に対して「市民の皆様への厳しい感情を重く受け止め、信頼回復に全力で努めるとともに、市民に対して常に誠実に対応すること」を強く要望しました。2回目の臨時議会での議案は副市長の選任と市長のサポート役として新たに「市長特別顧問」を設置するというもので、いずれも賛成多数で同意・可決となりました。

9月定例議会

9月1日～10月7日の37日の期間で9月定例議会を開催しました。一般質問では、16名の議員が市長、教育長等に対して質問しました。

(質問項目を3面に掲載)

議会期間の前半は主に補正予算の審査を行いました。市独自で10万円を加算した出産子育て応援祝い金、行政センターから地域情報発信するための経費、追浜夏島線道路拡幅のための調査費等のための補正を含む、計19件の議案が審査されました。後半は各予算決算常任委員会分科会において、令和6年度の横須賀市一般会計と企業会計の決算審査を行い、予算の執行状況や各事業の実績などについて執行部に質疑を行いました。最終日の10月7日には固定資産評価審査委員会委員及び教育委員会委員選任の議案が提出されました。上程された議案は、採決の結果いずれも可決・認定・同意されました。(審議結果を4面に掲載)

観光立市推進基本計画(第2次)策定に係る報告を聴取

本市では、平成28年9月に策定した「観光立市推進基本計画」が令和7年度末で計画期間を終えることから、次期計画となる「観光立市推進基本計画(第2次)」を策定することになりました。

今回の計画策定の目的として、観光を横須賀の産業の柱の一つと位置づけ、「観光立市よこすか」を目指すために、近年の観光を取り巻く環境の変化やこれまでの取組の成果と課題を踏まえた上で、今後の戦略を定めます。委員会では計画素案について市民の皆様からのご意見を募集するため、パブリック・コメント(※)手続を実施すると報告に質疑を行いました。

主な質疑

問 メタバースの知名度が上がっている中、インバウンドの取り込みや、高付加価値なものを提供する仕組みづくりの検討は行っているのか。

答 メタバースは海外向けの特集で取り上げられたこともあり、海外の方に横須賀を知っていたり、壁等の問題はありますが、今後も検討を進めたい。また、メタバースを通じたリアル商品の販売の可能性も探していきたい。

問 暑さの影響で観光客が減っているとの声を聞

くが認識はどうか。

答 イベントは屋外での開催が中心のため夏の集客は難しいが、一方で猿島航路や軍港めぐりなどは利用が多い。夜のイベントの必要性も検討していきたい。

問 市民へのアンケートでは、「観光の取組が進んでいる」と実感できないとの声がある。市民への実感不足をどのようにカバーするのか。

答 観光客数や観光消費額は上がっているが、市民に届いていない現状がある。地域を巻き込んだイベントの検討や、様々なデータを市民に知っていただく工夫も必要だと考えている。

問 天候によるイベントの中止は事業者の負担が大きいが、直前ではなく、早めの判断をするなど、長く良いイベントを続けるために、より事業者を大切にするべきではないか。

答 主催側も苦渋の決断で中止をしているが、今後はより一層事業者を第一に考え運営を行いたい。



(※パブリック・コメント手続による意見募集は終了しました。)

トイレカーの買入について審査

大規模地震災害時の被災地では、上下水道の不通やトイレ不足により、避難所の衛生環境が悪化してしまい、感染症等のリスクが高まることも、被災者がトイレを我慢するために飲食を控え、体調を崩してしまうといった問題が生じています。この問題の解決策の一つとして、トイレカーを一台購入するための補正予算議案が提出されました。トイレカーを所有することにより、災害時に相互協力を行う他自治体等とのネットワークに加盟することができ、本市が被災した場合に、他自治体等からのトイレ支援を受ける体制が構築されることから、委員会では幅広く質疑がなされました。

主な質疑

問 トイレカーの平時及び災害時それぞれにおける運用に対する詳細な検討状況は。

答 平時における運用は他部局と連携しながら、災害時における運用は相互協力を行うネットワーク内でコミュニケーションをとりながら検討していきたい。

出産子育て応援祝い金事業について審査

現在の物価高騰を背景に、出産費用や子育て費用を負担に感じ出産をためらうことがないように、出産費用の補填と健やかな養育環境の整備に活用していただくことを目的に、国の「妊婦支援給付金」10万円に上乗せして、令和7年10月から本市独自に「出産子育て応援祝い金」として10万円を現金で支給するための補正予算について、委員会



主な質疑

問 支給対象者の範囲は、流産、死産、人工妊娠中絶をされた方、出産後お子様を亡くされた方も対象になるか。

答 対象になる。
問 政策効果はどのように測るのか。
答 直接的に言えば出生者数になるが、現在は減少傾向なので、その減少スピードが緩やかになること。また、今回の取組が子育て世代への社会的なメッセージになり、人口の社会増があれば効果が出ていくと捉えたい。

火葬場条例中改正について審査

現在中央斎場は1月1日から3日まで休日となっており、4日以降の火葬の予約が混み合い、予約が取りにくい状況です。加えて令和8年は1月4日が友引日となり4連休になることから、火葬ニーズに応じた柔軟な運営を可能とするため、斎場の休日を臨時に変更できるようにする条例改正について、委員会審査を行いました。

主な質疑

問 令和7年1月の火葬待ち平均日数が7・8日になっているが、最大の待ち日数は。

答 1月は最大で10日待ちだった。

水道管の維持管理等に係る決算について質疑

上下水道局では、上下水道に関する様々な設備について管理や整備を行っています。決算審査においては、主に水道管の耐震化等について多くの質疑がなされました。

主な質疑

問 老朽化した水道管はどのくらい残っているのか。県内他市町と比べて多いのか。
答 水道管の老朽管率は43・6%で、他市町の状況は把握していないが、耐震化率としては他市町

より比較的高く、38〜39%程度である。
問 今後、定期的な調査が必要だと思うがいかがか。
答 漏水の多い地域は毎年、それ以外の地域でも最低4年に1度の頻度で計画を立て定期的に調査を行っている。
問 配水管漏水調査について、人工衛星技術を導入している市もある。本市においても、今後の人手不足なども鑑み、導入する考えはあるか。
答 漏水箇所の特定率が

追浜夏島線整備事業及び鷹取川整備事業について審査

追浜夏島線について、国道357号の延伸に伴う交通量増加に対応するため、道路の拡幅計画の検討を行ってまいりました。追浜駅前から北消防署追浜出張所付近までの区間の道路幅員を拡幅する整備を行うため、用地測量及び建物等調査に係る委託料等について補正予算議案が提出され、審査を行いました。

主な質疑

問 鷹取川を整備することについて、報告を聴取しました。
答 この事業は、整備が完了した区間から順次、工事を開始し、令和17年度の完成を目指すものです。追浜駅前から北消防署追浜出張所付近までの区間の道路幅員を拡幅する整備を行うため、用地測量及び建物等調査に係る委託料等について補正予算議案が提出され、審査を行いました。

また、道路整備に先行して鷹取川を整備することについて、報告を聴取しました。

防災行政無線システム更新整備業務委託契約の締結に係る報告を聴取

防災行政無線システム更新整備は、市内において災害発生等の緊急時に住民及び市内滞在者へ正確かつ円滑な情報を放送することにより、住民等の生命及び財産を災害等から保護することを目的として行っています。この防災行政無線システムの全面更新を行うとの報告を受けました。今回の更新により、音声の聞き取りやすさの向上、システム障害リスクの最小化、放送操作の利便性の向上を図ることができ、あわせて確実な保守管理体制による長期間の安定稼働やランニングコストの低減が図られることから委員会では、これらの報告に関して質疑を交わしま

主な質疑

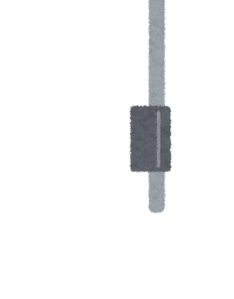
問 新システムの主な特徴
答 ① 高性能スピーカーの活用により、子局数を400局から362局に減局し、ランニングコストや故障リスクが低減。
② 主要装置の二重化を行うことでシステム障害による停止リスクの最小化。
③ タブレット操作卓の導入により、遠隔操作が可能となり、利便性の向上。

問 他都市における新システムの採用実績は。
答 神奈川県内では、座間市や山北町など3自治体で採用されている。

上や対応の迅速化、操作卓機能の二重化を図る。

した。

補助制度をご活用いただくなど、商店街と相談しながら進めていきたい。



この事業は、整備が完了した区間から順次、工事を開始し、令和17年度の完成を目指すものです。追浜駅前から北消防署追浜出張所付近までの区間の道路幅員を拡幅する整備を行うため、用地測量及び建物等調査に係る委託料等について補正予算議案が提出され、審査を行いました。

関東学院大学との包括的パートナーシップ協定に基づきインターンシップ受け入れを実施

横須賀市議会では、平成28年から関東学院大学と包括的パートナーシップ協定を結び、これまで相互の信頼関係に基づき密接に連携し協力しながら様々な取組を実施しています。その一つとして、地方議会及び議員の実務に対する関心を深めてもらうため、学生インターンを迎え入れており、本年は8月5日～8日の期間で開催しました。

議員による政策立案のプロセスとその検証について学んだり、民間事業者や市の事業の現地視察に出掛けたり、執行部との意見交換会を行うなど、各会派が趣向を凝らした実習内容となりました。

また、参加した学生に議会の課題解決への提案書を作成してもらいました。

提案書の作成過程で、議会の課題やその解決に向けた取組をじっくり考えてもらい、結果として議会の仕事をこれまでよりも身近に感じてもらうことができました。

学生からは、「課題を通して解決に至るまでのプロセスや、周囲の理解や共感があって政策が実現していくことの重要性を知ることができ今後に活かしていく」といった嬉しい感想もありました。議会にとっても、若い世代の皆さんの意見を聞くことは貴重な機会であり、今後も関東学院大学と連携を密にし、若い世代にも開かれた議会を目指していきます。



議会政策形成サイクルに基づき政策提言の検証を行いました

横須賀市議会では、市民の暮らしに関わる課題を解決するため、政策形成サイクルという仕組みをつくり、計画を立てる(Plan)、実行する(Do)、検証する(Check)、改善する(Action)という流れを繰り返しながら、より皆さんの暮らしやすいまちづくりに取り組んでいます。

このたび、令和5年2月に市議会から市長に対して提言を行った「公共交通の在り方に関する政策提言」について、現在どのように取り組まれているか、新たな課題は生まれていないかなど、詳細に検証しました。

私たちはこれからも、政策形成サイクルに基づき、政策立案とそのブラッシュアップに取り組んでいきます。

◆現在進行中の政策立案

- ・スポーツ振興条例の制定
- ・若者支援のための政策立案



公共交通の在り方に関する政策提言について、検証を行った際の委員長報告はこちら



9月定例議会 一般質問

発言通告の全文はこちら→



<p>日本共産党 井坂 直</p> 	<p>①住民税等のシステム標準化は経費が大幅に増大。課題は ②石炭火力発電所のCO₂分離回収。実用化の目途未定では ③根岸・富浦・湘南鷹取の公園プール存続を願う声があり夏休みの子どもの居場所としても重要だ。地域の理解は</p>
<p>自由民主党 南まさみ</p> 	<p>①基地政策関連について ②下水道関連について ③市役所の構造改革について ④環境政策を一元管理できる組織の必要性及び検討状況</p>
<p>自由民主党 渡辺光一</p> 	<p>①日産自動車株式会社追浜工場について ②関係人口について ③三浦半島4市1町による広域連携について ④差別や偏見の存在について</p>
<p>公明党 本石篤志</p> 	<p>①市長の経済と福祉の両輪で進めた市政の成果について ②本市におけるつながりサポーターの養成の実施について ③外国籍児童生徒対応デイズ教科書の情報提供について ④学校間教職員間のICT活用授業の格差は正について</p>
<p>一市民 竹岡 力</p> 	<p>①日産自動車追浜工場の跡地活用について ②いじめ重大事態発生時に、第三者委員会に諮問して調査することについて ③市立総合医療センター駐車場の渋滞への対策について</p>
<p>公明党 川本 伸</p> 	<p>①健康寿命を延ばすために「リハビリテーション専門職派遣事業」を普及させる取組について ②地域フォーミュラの啓発活動における支援について ③選挙時の投票立会人の従事時間を分担することについて</p>
<p>一市民 天白牧夫</p> 	<p>①農業振興及び若者への新規就農促進について ②仮登記農地の問題を解消することについて ③気候変動に対する適応策について ④外来植物の拡散の防止について</p>
<p>日本共産党 ふじそのあき</p> 	<p>①再エネを進めるためにもメガソーラーを規制する必要性 ②米軍浦郷地区の棧橋新設と弾薬の把握状況について ③海自横須賀基地に配備予定の長射程ミサイルについて ④小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針改定</p>
<p>一市民 加藤ゆうすけ</p> 	<p>①環境教育・環境学習の機会を増やしてはいいかがか ②博物館を有料化するのか ③放課後子ども教室は時間延長するのか ④待機児童解消のため学童保育の確保が必要ではないか</p>
<p>自由民主党 高橋いずみ</p> 	<p>①ひとり親家庭への支援策について ②生成AIの活用成果と今後の展望について ③人口減少と少子化について</p>
<p>日本維新の会 ひろなか信太郎</p> 	<p>①就職氷河期世代への包括支援 ②空き家活用と住まい就労一体支援 ③「はたらく課」対象拡大と数値目標 ④介護AI・ICT導入と独自指標整備</p>
<p>一市民 堀りょういち</p> 	<p>①スマホ利用や睡眠時間等、子どもの生活習慣の改善に向けた調査研究と全市的な取組の推進について ②高齢者の住み替え支援と集住促進、マンション管理支援等による安全安心な住環境づくりについて</p>
<p>研政会 高橋英昭</p> 	<p>①将来を見据えた学校を中心としたまちづくりについて ②部活動の地域展開について ③地域の公園機能の再編について</p>
<p>一市民 小林優人</p> 	<p>①ヤングケアラーの予防と早期発見について ②学校を拠点とした支援体制整備について ③不登校児童へのICT活用による学びの保障について ④学びの多様化学校の早期設置について</p>
<p>中川さおり</p> 	<p>①市の広報機能と内部統制について ②米軍関係車両の交通教育の必要性について ③加齢性難聴と補聴器利用促進について ④正規雇用の拡大と雇用の安定について</p>
<p>日本共産党 大村洋子</p> 	<p>①影響が大。生活保護基準の引き下げに最高裁が違法判決 ②健康診断未受診の不登校児童・生徒への対応を早急に ③柔軟剤の香り成分を忌避。化学物質過敏症周知を市民へ ④原発燃料加工工場＝GNF-J火災の原因究明の報告を</p>

令和7年7月臨時議会・9月定例議会 審議結果

○=賛成、×=反対、- =欠席

賛否が分かれた議案	会派						無会派		
	自由民主党	公明党	一市民	研政会	日本共産党	日本維新の会	中川さおり	葉山なおし	藤野英明
	15人	7人	5人	4人	3人	2人			
常勤特別職員給与臨時特例条例制定について	○	○	×	○	×	○	○	○	-
副市長選任について(議案第78号)	○	○	○	○	×	○	○	○	-
副市長選任について(議案第79号)	○	○	○	○	×	○	○	○	-
令和7年度横須賀市一般会計補正予算(第3号)	○	○	×	○	×	○	×	○	-
令和7年度横須賀市一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	×	○	×	○	○
令和7年度横須賀市特別会計後期高齢者医療費補正予算(第1号)	○	○	○	○	×	○	○	○	○
乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について	○	○	○	○	×	○	○	○	○
保育園条例中改正について	○	○	○	○	×	○	×	○	○
こども園条例中改正について	○	○	○	○	×	○	○	○	○
(仮称)南こども園新築工事請負契約の変更契約締結について	○	○	○	○	×	○	○	○	○
令和6年度横須賀市一般会計歳入歳出決算	○	○	○	○	×	○	×	○	×
令和6年度横須賀市特別会計国民健康保険費歳入歳出決算	○	○	○	○	×	○	○	○	○
令和6年度横須賀市特別会計介護保険費歳入歳出決算	○	○	○	○	×	○	×	○	×
令和6年度横須賀市特別会計後期高齢者医療費歳入歳出決算	○	○	○	○	×	○	○	○	○
令和6年度横須賀市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	×	○	○	○	○
令和6年度横須賀市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	×	○	○	○	×
令和6年度横須賀市病院事業会計決算	○	○	○	○	×	○	○	○	×

※その他議案18件については、全会一致で可決、認定または同意しました。詳細は市議会ホームページにも掲載しておりますので、ご覧ください。

※9月定例議会の議案採決時、自由民主党の内、青木哲正議員(9月19日及び10月7日)は欠席しました。

※議長は、議事を取り仕切る立場から、採決には加わりません。

会派所属議員名 令和7年10月7日現在

会派	議員名			
自由民主党	南まさみ 松岡和行 西郷宗範 高橋いずみ	青木秀介 加藤眞道(議長) 山本けんじゅ 泉谷 翔	青木哲正 大野忠之 大貫次郎 海老あやの	田辺昭人 渡辺光一 池田徳重
公明党	土田弘之宣 二見英一	石山 満 川本 伸	関沢敏行 菅原恵美子	本石篤志
一市民	加藤ゆうすけ 堀りょういち	小林優人	竹岡 力	天白牧夫
研政会	伊関功滋	長谷川昇	工藤昭四郎	高橋英昭
日本共産党	大村洋子	井坂 直	ふじそのあき	
日本維新の会	安川健人	ひろなか信太郎		

請願・陳情

	件名	結果
請願	日本政府に核兵器禁止条約の署名及び批准を求める意見書の提出について	不採択
陳情	配慮ある重度障害者医療費助成施策の実施について	審査終了
	障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援について	審査終了
	再審法改正を求める意見書の提出について	審査終了
	自治体職員の労働組合への加入、庁舎内での政党機関紙の購読勧誘等に関する調査及び是正について	趣旨 了承

「審査終了」とは、委員の意見が一致しないなど委員会としての結論が出せずに審査を終えた場合を言います。

編集後記

いつもご覧いただいている本市議会だよりですが、現在、広報広聴会議にて大幅リニューアルを検討しています。市民の皆さんからのアンケート結果を踏まえ、より読みやすく、より親しみを持っていただける紙面にできるよう努めていきます。

編集：広報広聴会議(◎=委員長、○=副委員長)

◎川本 伸/○竹岡 力/高橋いずみ/大貫次郎/松岡和行/菅原恵美子/堀りょういち/高橋英昭/ふじそのあき/ひろなか信太郎



令和7年12月定例議会の予定

開催日	会議名
11月17日(月)	予算決算理事会
11月18日(火)	議会運営委員会
11月26日(水)	議会運営委員会
11月27日(木)	本会議、予算決算常任委員会(本会議終了後)
12月2日(火)	民生常任委員会(予算決算分科会)、都市整備常任委員会(予算決算分科会)
12月4日(木)	総務常任委員会(予算決算分科会)、環境教育常任委員会(予算決算分科会)
12月8日(月)	特別委員会(設置された場合に開会)
12月10日(水)	予算決算理事会、予算決算常任委員会(11時)
12月12日(金)	議会運営委員会、本会議(14時)

11月28日(金)、12月3日(水)・5日(金)・9日(火)・11日(木)は予備日です。インターネットで中継もご覧になれます。(本会議は手話通訳も同時に行っています) 時間の記載がないものは10時開会。開会日時は変更される場合があります。傍聴のご案内など最新の状況は市議会HPか議事課でご確認ください。

地域防災計画検証特別委員会の最終審査報告・市長への提言

同特別委員会は、昨年9月に実施した同計画地震災害対策計画編の改定及び運用改善に関する市長への提言について、市の対応経過を継続的に確認してきました。

そんな中、同計画が本年3月に改定され、運用改善については、6月開催の委員会において、対応をすべて了承しました。

これを受け、9月19日の本会議にて最終審査報告を行い、同時に市長へ2項目の提言を提出しました。

今後も、市と連携を図りながら、実効性の高い防災対策の推進に努め、市民の安心・安全の確保に取り組んでまいります。



市長への提言の様子

市長への提言はこちら

